

災害に強いまちづくりをめざして

わが家で

地域で

あわてないための・・・日頃の備え

あ、地震だ!

3秒
地震だ!

- ①まず、我が身の安全を守れ
- ②すばやく火の始末
(調理器具・暖房器具)
- ③玄関を開けて出口の確保



1~2分
ゆれがおさまった

- ①火が出たらすぐに消火を
- ②家族の無事を確認
- ③家の中でも靴やスリッパをはく
(割れたガラスでケガをすることがある)



「山崩れ」・「ガケ崩れ」・「津波」が予想される山間部、海岸部のみなさんはすぐに避難!
避難の前に、ガスの元栓、電気のブレーカーを切る

3分
隣近所に
声をかける

- ①近所で助け合う
 - ・火事はないか?
 - ・隣のお年寄りは大丈夫か?
 - ・ケガ人はいないか?
- ②ガスの元栓、電気のブレーカーを切る
- ③余震に注意



4~10分
ラジオ
をつける

- ①ラジオやテレビで正しい情報を得る
 - ・電話はなるべく使わない
- ②徒歩で避難する
 - ・荷物は最小限に
 - ・外出中の家族に行先メモを残す
 - ・狭い路地、ブロック塀、自販機に近寄らない



あわてず落ち着いて! 「火事・救急」は119番

わが家で備える

<家族で防災会議をひらこう!>

● わが家があるのは、どんな環境？どんな災害が起こりやすいのか。

海沿いでは・・・「津波」・「高潮」・「高波」・「台風による暴風」など
川沿いでは・・・河川氾濫による「浸水」・地震による「地盤崩落」など
山沿いでは・・・「ガケ崩れ」・「地すべり」・「土石流」など

● 災害で家族がバラバラになった時の「避難場所」や「連絡方法」は確認できていますか？

— 家族の集合場所は複数想定して優先順位を決めておきましょう —

覚えておこう！「災害用伝言ダイヤル171」

災害発生時は、被災地に電話が殺到してかかりにくくなります。
こんな時、災害用伝言ダイヤル「171」で無事を確認することができます。



- ・被災者は、「171+1+自宅の電話番号」にかけて安否を録音
- ・伝言を聞く時は、「171+2+被災者の自宅の電話番号」で再生

● 備えこそ命を救う！「住宅の点検」・「家具の点検」はできていますか？

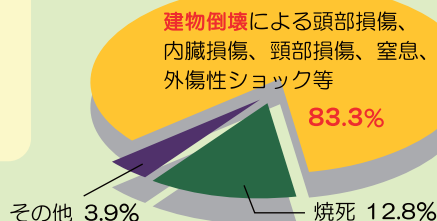
■ 住宅の点検

昭和56年以前の住宅が危ない

阪神・淡路大震災では、昭和56年以前の旧耐震基準で建築された住宅の約64%が大きな被害を受けました。

阪神・淡路大震災後の教訓

犠牲者の多くは
建物の倒壊が原因



住宅の耐震補強工事



■ 家具固定をしていないとこんな危険が！

1. 家具の下敷きになり大ケガをする。最悪の場合、命を落とす
2. 倒れた家具が避難の妨げになり、避難が遅れたり、中に閉じ込められる
3. 家財の散乱は、火災の危険を増大させる

家具類の転倒・落下防止

そのために…

1. 大きな家具、背の高い家具は壁に固定する
2. 固定が難しい場合は、「つっぱり棒」などで工夫する
3. 「出口」や「寝ている所」に倒れない配置にする
4. 家具は窓ガラスやストーブのそばから離す
5. 家具の上に重い物や人形ケースなどを置かない
6. 食器棚などのガラスに「飛散防止フィルム」を貼る



● 非常持出品、備蓄品は用意できていますか？

非常持出品

●貴重品



現金、通帳、印鑑、保険証、免許証、連絡先一覧など

●携帯ラジオ



小型でFM付が良い、予備電池を忘れずに

●照明器具



懐中電灯、予備電池、ろうそく、ライター、マッチなど

●道具類



缶切り、栓抜き、ナイフ、割りばし、ポリ袋、ビニールシート、ロープなど

●衣類



下着、セーター、トレーナー、ジャンパー、軍手、雨ガッパなど

●非常食品



缶詰、カンパン、ビスケット、チョコレート、ミネラルウォーターなど

●救急衛生用品



タオル、ティッシュ、絆創膏、きず薬、包帯、常備薬、カイロ、生理用品など

非常備蓄品

●食料品



最低3日分を確保。缶詰やレトルト食品、インスタント食品など

●水



飲料水は1人1日3ℓが目安

●燃料



卓上コンロ、固形燃料、予備のガスボンベは多めに用意

●赤ちゃんがいる場合



赤ちゃんがいる場合は、粉ミルクや紙おむつなど

阪神・淡路大震災 アンケートより 被災者の方々の声

懐中電灯

うちでは、懐中電灯を戸棚に入れておいたのに、戸棚が倒れた拍子に中身が散らばってしまい、どこにあるのかわからなくなり困りました。今は、すぐ手が届くベッドのそばにラジオと一緒に置いてあります。

(神戸市兵庫区 O.Mさん)

ラップ

とにかく水は貴重で、洗い物には使えなかったため、ラップを紙皿に敷いて使いました。でも、すぐに足りなくなり、親戚に頼んで届けてもらいました。

(神戸市中央区 H.Aさん)

ウェットティッシュ

着の身着のまま、ガレキの中を必死で逃げました。水がないので全身がひどい汚れで、衛生的にもよくない状況でした。あの時、ウェットティッシュが1箱あったらどれだけ助かったかと思います。

(神戸市須磨区 N.Yさん)

阪神・淡路大震災時には、 家庭の中のこのような ものが役立ちました

- | | |
|---------------|------------|
| 1 懐中電灯 | 11 使い捨てカイロ |
| 2 食料品 | 12 カセットコンロ |
| 3 ラップ | 13 下着 |
| 4 ポリ袋 | 14 薬 |
| 5 小型ラジオ | 15 紙コップ |
| 6 トイレtpーパー | 16 飲料水 |
| 7 電池 | 17 アルミ箔 |
| 8 ウェットティッシュ | 18 紙皿 |
| 9 手袋・軍手 | 19 生理用品 |
| 10 小銭(10円玉など) | 20 帽子 |

地域で備える <自分たちのまちは自分たちで守ろう!>

大きな災害が発生すると、道路の寸断や建物の倒壊、電話・水道・電気などが止まり、消防署などの防災活動が困難になることが予想されます。



<新潟県中越地震で孤立した川口町の集落>

そこで重要な役割を果たすのが「自主防災組織」です!

個人がバラバラに防災活動をして、地域全体としての効果は期待できません。被害を最小限にするためには、地域ぐるみの協力体制が絶対不可欠です。地域住民が団結し、「自分たちのまちは自分たちで守る」という強い連帯意識で防災活動を行うのが「自主防災組織」です。

多くの方が近隣住民によって救出された
～阪神淡路大震災～



自主防災組織の「日頃の活動」と「災害時の活動」

	日頃の活動	災害時の活動
情報班	情報を住民に伝える訓練を実施し、回覧やチラシなどで防災の啓発活動を行います。 	行政や消防機関からの情報を地域へ伝え、地域の災害状況や避難状況を行政へ報告します。
消火班	消火器具の点検方法や消火技術を習得し、住民へ取扱方法を指導します。 	周辺住民の協力を求めて初期消火を行い、火災の拡大を防ぎます。
救出救護班	負傷者の搬送法や応急手当法の習得訓練を行い、医療施設などの位置を確認しておきます。 	救出作業を行うとともに、負傷者の応急手当をして、医療施設や救護所に搬送します。
避難誘導班	避難経路や避難場所を把握し、誘導訓練を行います。地域内の危険箇所も把握しておきます。 	組織として安全な行動がとれるよう、避難場所まで住民を誘導します。
給食給水班	物資の備蓄、管理を行うとともに飲料水をつくる訓練や炊き出し訓練などを行います。 	炊き出しや飲料水を確保するほか、食料品や救援物資の受け入れ、配給を行います。

あなたの地域の防災メモ

避難場所		
地域の連絡先 役場・消防署・警察署・電気・ガス・水道など	☎	☎
	☎	☎
	☎	☎
	☎	☎